

原子力の発電コストについて

追加資料

(円/kWh)

9.0円/kWh～



事故リスク対応費用

- ・福島原発事故による損害(約9兆円)を、モデルプラントにあわせて補正すると6兆円強。
- ・損害額を40年で積み立てるとすると0.6円/kWhに相当。
- ・ただし、損害額は増える可能性があるため、下限。損害想定額が1兆円増えると0.1円/kWh上昇。

立地交付金(約1,200億円/年)、もんじゅ等の研究開発費(約1,400億円/年)を含めた約3,200億円を反映。

追加的安全対策
(約200億円)

【事故リスクコストの計算方法】

損害想定額(約6兆円強(福島原発事故の約9兆円を補正))

平成23年度発電実績(2,772億kWh) × 40年間

=0.6円/kWh(損害想定額が1兆円増えるごとに0.1円/kWh増)

含まれているもの	含まれていないもの
・廃炉費用(現時点での見通し)	(損害賠償関係)
・損害賠償費用の一部	・生命・身体への損害
・除染費用の一部	・地方自治体の損害
・行政経費	(除染費用関係)
	・中間貯蔵/最終処分費用
	・高濃度汚染の除染費用

【核燃料サイクルコストについて】

- ・現状モデル(再処理+中間貯蔵)のコストを利用。

フロントエンド	バックエンド
・ウラン燃料費用	・中間貯蔵費用
・MOX燃料費用	・再処理費用(ガラス固化体費用含む。)
	・最終処分費用(処分後のモニタリング費用も含む。)

【安全対策コストについて】

- ・緊急安全対策のコストを加算。

含まれるもの	含まれないもの
・防潮壁、電源車配置など緊急安全対策	・中長期の信頼性向上対策

※稼働年数40年、設備利用率70%(実績ベース)、割引率3%